

《征稿》老后之所思

几年前的一个初冬，一场急病，自觉得冰冷空寂的房间一下子变成了魔鬼的深渊，以后我迷迷糊糊被救护车送进了医院……

从医院出来我好一阵惶恐，不知不觉人就老了，越来越老了。据说随着身体的器官的老化，病会增多，会加重。太可怕了，该怎么办呢？

我想起了老母。老母 95 岁去世，离世前经整理经出版了两本诗集。在整理她的诗集时，我才惊讶地得知，她 70 岁才开始写，一直坚持不断已经写了 500 多首了，但凡谈起她的诗，她会兴奋得像又回到了少女时代。母亲常对我们说“活到老学到老”有志者事竟成“母亲不追求金钱，想得开，我觉得就因为她有她的理想和追求吧，所以在大家眼里，她成了最幸福的最可敬的老人。老母过世的时候，一脸的平静，坦然中还带着一丝微笑。

我又感触于一位邻人，他们家的水泥院子正对着我常路过的小路。以前两年，从春天到秋天院中总一字排开四个大花盆，盆中种着蔬菜瓜果，我早上出来坐车时总见一个看似得过中风的老人，一个人慢慢给盆中浇水或施肥什么的。从春种以后到收获为止每天不停，并且院子总是被收拾得干干净净的。每到收获完毕，花盆总被收到房子的一边，空出了整个院子。有时我去商店买食品也碰到过这家老人，老头推着购物车走十几步就得歇一会儿。老太陪着，互相帮着，看着两人都有八九十岁了。这种时候我会不由自主地向他们投去敬意的目光并致以问好。又一年的春天，经过这家院



《投稿》老後の思い

数年前のある冬の初めのこと、冷たくさびしい部屋が途端に地獄の淵に変わってしまっただかのような感覚に陥り、その後意識が薄れていく中で、救急車で病院にかつぎ込まれました。

病院から出てきた私は、知らず知らずには老いていくということに、しばらく慌てふためきながらとても怖くなりました。身体器官の老化により、病が増えたり、重くなったりすると言います。本当に怖くて、これから一体どうしたらいいのか分からなくなりました。

私は自分の老母のことを思い起こしました。母は 95 歳で亡くなりましたが、生前に 2 冊の詩集を整理して出版しました。その詩集を整理している際に私が知って驚いたことには母は 70 歳になって詩を書き始め、その後もずっと根気強く書き続けて、既に 500 数首も書き上げていました。詩の話になると、母は少女時代に再び戻ったかのように興奮しました。母はよく私たちに「長生きし、老いても学ぶ志がある者は、事をやり遂げることができる」と言っていました。母は金銭を追求せず、くよくよせず、私が思うに母には母の理想がありそれを追求したからこそ、家族の目から見ても母は最も幸福で尊敬される老人でした。母が亡くなった時、その顔は平静と泰然の中、微笑みさえ湛えていました。

また、私は隣人夫婦についても思い起こ

子、我看到了不祥之兆，那是花盆破碎的痕迹。以后花盆不见了，院中一直空着，依然保持着整洁，这景象让我突然地悲凉起来，又一个实实在在终身努力的老人走了。又过了好几个月，在商店我看见了那位老太，我向她问了好，便赶快扭身去了，我生怕我的眼泪让她看见。然而购物时我已经觉得我错了，因为那老太的脸上分明十分平静而且目光中有一种坚定与自信。

每个人都用不同的方式展示着自己的人生。我的脑子顿时豁然地开朗了起来，死是生的必然，不容回避也不必惧怕。不管人生是否辉煌，大多数人都是平凡的。就像我母亲和那位老人，他们尽管平凡也要活的有价值、活的充实、活的坦然。

“活到老学到老”，这以后我常去图书馆看报、看有关健康方面、人生方面的书和杂志，针对自己身体状况积极地调整、改进饮食。我量力锻炼，注意休息。我利用现有条件，继续学日语学文化教养。我也注意提醒自己，与人要多多益善，知足常乐。我还在身体条件允许的情况下发挥自己的特长办点儿汉语讲座为社会尽微薄之力，我觉得这样的生活过得又愉快又充实。

(H.S)

しました。彼らのセメント造りの庭はちょうど私がよく通る小道に面していました。2年前、春から秋にかけて、庭の中に一列に並んだ4つの大きな鉢に野菜や果物が植えてありました。朝、車で出かける際大病を患ったようなご老人が一人でゆっくりと鉢に水や肥料か何かを与えているのを目にしました。その後、収穫まで毎日休まず続けていて、その上、庭はいつもきれいに片付けられていました。収穫が完了すると、鉢は部屋の端に片付けられて、庭は空っぽになります。ある時、私が食料を買いに商店に出かけた際に偶然、このご老人にお会いしたことがあります。夫は買い物カートを押しながら十数歩歩いては一休みしており、夫人は夫に寄り添って見ました。見た目80か90歳のお二人が互いに助け合っている様子で、このときは自然と敬意の面持ちでご挨拶しました。それから1年後の春、この家の庭の前を通り過ると、鉢が粉々になった痕跡があり、ただ事ではない様相でした。その後は鉢を見ることなく、庭の中はずっときれいに片づけられたままで、なんだか突然寂しくなりました。一人の一生懸命なご老人がこの世を去られたのです。数ヶ月して、彼女に商店でお会いし、私は挨拶しましたが、思わず出た涙を見られないようにすぐに顔の向きをかえてしまいました。それから買い物している最中に私は自分の過ちに気がつきました。この夫人の顔は静かで、目には決意と自信が溢れていたからです。

各自がそれぞれのやり方で自己の人生を



まっとうしているのです。私の^{あたま}頭はあつという間に朗らかになり、死は生の必然なのだから、回避^{かいひ}することもできないし、恐れる必要^{ひつよう}もないと思いました。人生が輝^{かがや}いていようがいまいが、大多数^{だいたすう}の人の人生は平凡^{へいほん}なものです。私の母やその老人のように平凡でも、価値^{かち}のある、充実^{じゅうじつ}した生活^{せいかつ}を求めます。

「長生きし、老いても学ぶ」、その後、私も図書館^{としょかん}によく通い、新聞^{かよ}や、健康^{しんぶん}や人生^{けんこう}に関する本^{かん}や雑誌^{ほん}を見て、自己^{たいち}の体調^{たいちよう}に合わせて積極^{せっきよく}的に生活^{てきせき}し、食事^{せいかつ}の改善^{しよくじ}に取り組んでいきます。また、できるだけ体力^{たいりよく}をつけて、休息^{きゅうそく}に注意^{ちゅうい}をはらうとともに、現在の環境^{げんざい}の中で、日本語^{にほんご}学習^{がくしゅう}を継続^{けいぞく}し、文化^{ぶんか}、教養^{きょうよう}を身につけるよう努力^{どりよく}しています。自分自身^{じしん}の啓発^{けいはつ}に注意し、人とのつながり^{おお}が多ければ多いほど、知識^{ちしき}が深まり、日常^{にちじょう}が楽しくなります。体^{からだ}がゆる^{ゆる}かぎ^{かぎ}もあじ^{あじ}い^いこう^{こう}ぎ^ぎ許^こす限り私の持ち味^{もちみ}を生かし中国語講座^{ちゅうごくごこうざ}を助けたりして、微力^{びりよく}ながら社会^{しゃかい}に尽くせたら、楽しく充実^{じゅうじつ}した生活^{せいかつ}が過ごせるように思います。(H.S)